

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月2日

上場取引所 大

上場会社名 岩塚製菓株式会社

コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 榎 春夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 郷 芳夫

TEL 0258-92-4111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,089	8.9	△511	—	820	7.7	462	58.7
22年3月期第2四半期	9,265	△6.5	△366	—	762	220.0	291	△64.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	80.15	—
22年3月期第2四半期	50.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	62,275	37,698	60.5	6,523.47
22年3月期	55,139	33,045	59.9	5,717.37

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 37,682百万円 22年3月期 33,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	4.9	100	—	1,430	43.3	730	79.6	126.38

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期2Q | 5,995,000株 | 22年3月期 | 5,995,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期2Q | 218,589株 | 22年3月期 | 218,589株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期2Q | 5,776,411株 | 22年3月期2Q | 5,776,505株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想につきましては、平成22年5月19日に発表いたしました予想から修正しております。詳細につきましては、2ページ1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報の(3)連結業績予想に関する定性的情報及び平成22年10月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」並びに「営業外収益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。
なお、上記の予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、円高の進行や厳しい雇用情勢により構造的なデフレからは依然として脱却できず、先行き不安が強まっております。

米菓業界では、贈答品を含めた大きな需要期に記録的な猛暑に見舞われ、飲料が好調であった反面、需要を伸ばすことができませんでした。

このような経営環境におきまして、当社グループは中期的な企業成長を視野に入れ、シェアの拡大と主力製品の製造ラインの自動化によるコスト削減を図ってまいりました。

しかし、猛暑の影響により第2四半期の売上が減少する中、シェア確保に向けての消費者キャンペーン等の販売促進費用ならびに第3四半期以降の最重要期に向けて販売拠点の強化やプロモーション費用等の販売費が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高100億89百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

利益面につきましては、営業損失は5億11百万円（前年同四半期は3億66百万円の営業損失）、経常利益は8億20百万円（前年同四半期比7.7%増）、四半期純利益は4億62百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。

なお、経常利益につきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited. からの株式配当金12億72百万円を営業外収益の受取配当金で計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は622億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して71億36百万円の増加となりました。

流動資産は56億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して80百万円の減少となりました。これは主に、売上債権が5億60百万円減少したこと及び未収入金が4億24百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は566億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して72億16百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、245億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億82百万円の増加となりました。

流動負債は、62億92百万円で前連結会計年度末と比較して4億37百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が減少したこと等によるものであります。固定負債は182億83百万円となり前連結会計年度末と比較して29億20百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、376億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億53百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は3億45百万円（前年同四半期比7.6%減）となり、前連結会計年度末と比較して1億74百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は6億44百万円の収入（前年同四半期は8億88百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益8億24百万円、減価償却費3億93百万円を反映させたこと及び法人税等の支払額3億32百万円によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は4億87百万円の使用（前年同四半期は14億86百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出4億54百万円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3億27百万円の使用（前年同四半期は4億27百万円の獲得）となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出2億50百万円及び配当金の支払額74百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、主力製品ラインの自動化によるコスト削減を図ってまいりましたが、猛暑の影響による第2四半期の売上減とシェア確保のための販売促進費用ならびに第3四半期以降の最重要期に向けて販売拠点の強化やプロモーション費用等の販売費が増加いたしました。

また、株式を保有しているWant Want China Holdings Limited. からの中間配当金(4億47百万円)を営業外収益の受取配当金に計上いたしました。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

詳細は、平成22年10月22日付「業績予想の修正に関するお知らせ」並びに「営業外収益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成22年5月19日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	220	1,170	610	105 60
今回発表予想(B)	21,500	100	1,430	730	126 38
増減額(B-A)	—	△120	260	120	—
増減率(%)	—	△54.5	22.2	19.7	—
前期実績	20,494	△182	997	406	70 37

(注) 上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これに伴う損益に与える影響はありません。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,845	523,200
受取手形及び売掛金	2,678,243	3,238,752
有価証券	38,338	19,770
商品及び製品	63,457	45,970
仕掛品	73,050	69,816
原材料及び貯蔵品	397,752	335,582
その他	2,073,447	1,552,969
貸倒引当金	△1,701	△34,108
流動資産合計	5,671,433	5,751,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,574,542	4,588,669
その他(純額)	2,651,349	2,575,824
有形固定資産合計	7,225,892	7,164,494
無形固定資産		
	65,844	59,221
投資その他の資産		
投資有価証券	49,109,105	41,962,490
その他	211,413	209,267
貸倒引当金	△8,563	△8,356
投資その他の資産合計	49,311,955	42,163,401
固定資産合計	56,603,692	49,387,117
資産合計	62,275,126	55,139,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	494,070	542,645
短期借入金	4,000,000	4,250,000
未払法人税等	257,982	257,448
賞与引当金	462,601	461,566
その他	1,078,084	1,218,922
流動負債合計	6,292,739	6,730,582
固定負債		
退職給付引当金	883,319	872,042
役員退職慰労引当金	107,559	113,685
繰延税金負債	17,057,704	14,167,607
その他	235,033	209,933
固定負債合計	18,283,615	15,363,267
負債合計	24,576,355	22,093,850

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	6,541,563	6,153,679
自己株式	△365,523	△365,523
株主資本合計	9,670,039	9,282,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,033,716	23,762,999
為替換算調整勘定	△21,503	△19,263
評価・換算差額等合計	28,012,213	23,743,735
少数株主持分	16,518	19,331
純資産合計	37,698,770	33,045,223
負債純資産合計	62,275,126	55,139,073

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,265,804	10,089,051
売上原価	6,237,072	6,581,536
売上総利益	3,028,732	3,507,514
販売費及び一般管理費	3,395,040	4,018,540
営業損失(△)	△366,308	△511,025
営業外収益		
受取利息	9,784	11,417
受取配当金	1,111,599	1,283,249
その他	36,486	56,036
営業外収益合計	1,157,870	1,350,703
営業外費用		
支払利息	20,427	11,992
持分法による投資損失	457	446
その他	8,147	6,246
営業外費用合計	29,032	18,685
経常利益	762,528	820,992
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	31,746
その他	35	567
特別利益合計	35	32,313
特別損失		
固定資産除却損	1,967	1,487
投資有価証券評価損	4,941	26,881
その他	54	20
特別損失合計	6,963	28,389
税金等調整前四半期純利益	755,601	824,916
法人税、住民税及び事業税	385,122	333,245
法人税等調整額	81,830	30,929
法人税等合計	466,952	364,175
少数株主損益調整前四半期純利益	—	460,740
少数株主損失(△)	△3,129	△2,236
四半期純利益	291,778	462,977

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,687,911	4,782,316
売上原価	3,149,796	3,228,330
売上総利益	1,538,114	1,553,986
販売費及び一般管理費	1,731,384	1,952,173
営業損失(△)	△193,269	△398,186
営業外収益		
受取利息	5,883	5,606
受取配当金	323,770	448,767
持分法による投資利益	1,508	—
その他	16,127	51,983
営業外収益合計	347,290	506,357
営業外費用		
支払利息	11,410	6,017
持分法による投資損失	—	86
その他	4,954	3,652
営業外費用合計	16,365	9,756
経常利益	137,654	98,413
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	7,622	—
貸倒引当金戻入額	—	9,166
その他	10	553
特別利益合計	7,632	9,719
特別損失		
固定資産除却損	1,956	1,487
投資有価証券評価損	—	4,903
その他	50	20
特別損失合計	2,006	6,411
税金等調整前四半期純利益	143,280	101,721
法人税、住民税及び事業税	△7,939	△34,779
法人税等調整額	47,248	97,902
法人税等合計	39,308	63,123
少数株主損益調整前四半期純利益	—	38,598
少数株主損失(△)	△1,628	△1,329
四半期純利益	105,600	39,928

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	755,601	824,916
減価償却費	356,131	393,849
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,510	△32,199
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,325	1,035
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,753	11,277
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,816	△6,126
投資有価証券評価損益(△は益)	4,941	26,881
受取利息及び受取配当金	△1,121,384	△1,294,666
支払利息	20,427	11,992
持分法による投資損益(△は益)	457	446
売上債権の増減額(△は増加)	60,299	519,033
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,557	△54,893
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,064	△56,911
未収入金の増減額(△は増加)	—	△424,508
その他	△104,824	△216,974
小計	△106,073	△296,849
利息及び配当金の受取額	1,112,158	1,285,528
利息の支払額	△19,737	△11,741
法人税等の支払額	△97,858	△332,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	888,488	644,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△600
有価証券の取得による支出	△59,228	△24,456
有価証券の売却による収入	50,364	4,245
有形固定資産の取得による支出	△382,404	△454,888
有形固定資産の売却による収入	—	1,169
無形固定資産の取得による支出	—	△10,200
投資有価証券の取得による支出	△5,029	△3,051
投資有価証券の売却による収入	26	—
貸付けによる支出	△1,090,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,486,271	△487,782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	780,000	△250,000
長期借入金の返済による支出	△276,000	—
配当金の支払額	△74,929	△74,984
自己株式の取得による支出	△131	—
その他	△1,550	△2,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	427,388	△327,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,826	△3,601
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△173,220	△174,955
現金及び現金同等物の期首残高	546,445	520,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	373,224	345,045

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、米菓事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。